1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日
3. 業務の範囲	<p><1> 児童発達支援事業及び基本的動作指導、適応訓練、相談・検診・育成支援 心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び検診を行い、その育成を支援する。</p> <p><2> 施設及び設備の維持管理</p>

4. 採点表									
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(一点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	施設の特性から評価対象外の項目						
		②利用人数	施設の特性から評価対象外の項目						
	(2)市の事業の企画・運営	20	仕様書以上:20~16点、仕様書に忠実:15~12点、仕様書の一部不実施(軽微):11~9点、仕様書の一部不実施(中程度):8~4点、それ以下:3~0点	別紙の事業評価表のとおり		仕様書に忠実 15点	全体としては、仕様書の事業が適切に実施されていると評価。主たる事業である療育への取組みについては、待機の解消のためにプログラムを見直したが、利用人数が大きく増加していない点は課題として分析が必要。言語聴覚士が欠けて、ことばの指導の利用が減ったことを課題とし、今後の職員体制に活かされたい。	15点	
	(3)自主事業の企画・運営・実施(20点)	20	内容・事業数等が期待以上:20~16点、内容・事業数等が例年通り:15~12点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:11~9点、内容・事業数等が例年より劣る:8~4点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:3~0点	別紙の事業評価表のとおり		内容・事業数等が期待以上 16点	自主事業が適度な回数、実施されている。また、事業内容は、センターの設置趣旨に合ったものとなっている。また児童館・児童センターに出向き、支援の取組みを始めた点も評価できる。	16点	

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点		
2	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	職員によるセンター内の清掃 毎日 床面ワックスがけ 年1回(8/10)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②保守・点検		一般用電機工作物 年3回(4/27,7/30,2/24) 運動施設(遊具)等の点検 年2回(7/14,3/16)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③保安・警備		消防用設備等点検・外観及び機能点検 年2回実施(9/16,3/7) 消防訓練 年2回実施(6/11,1/27)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④小規模修繕		①スイッチ位置変更 14,040円 ②軒樋改修 72,360円 ③巧技台ゴム蓋張替修理2個 58,000円 ④巧技台蓋修理 14,500円 ⑤屋根瓦修理 8,640円 ⑥センサーライト取替え 21,600円 ⑦砂場枠修繕 66,528円 10万円未満であったため、仕様書の定めより指定管理者の負担による。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		・特になし(毎日点検の実施)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	多治見市社会福祉協議会文書管理規定により、管理・保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	12点	
		②環境への配慮		・パソコンや電灯をこまめに切る、冷房は28度・暖房は18度に設定、紙はりサイクル用、内部文書には裏紙を活用等の節約。 ・プールの残り水で打ち水をし、暑さ対策を行っている。 ・行事等で食べものを出す場合は、できるだけ容器等を必要としないものや、あるいは使用数が少なくなるようなものにして廃棄物の抑制に努めている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 エコオフィスのみならず、事業の中で食品を提供する際の容器などについて廃棄物抑制に努めている姿勢を評価する。		
		③バリアフリー		・保育園の跡地のため、全面的に整備されているとは言えないが、利用において不都合が生じないよう配慮・介助を心がけている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 老朽化によりバリアフリーが不十分な施設で、障がいを持つ児童に事故がないよう配慮しながら療育に努めている姿勢を評価する。		
		④備品管理		・備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーにて適正に管理。破損備品は、報告の上廃棄処分。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護		・個人情報や台帳は鍵付きロッカー・キャビネット収納 ・暗証番号でUSB保管 ・USB・個人ケースファイル等個人情報は、施設外持ち出し禁止	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応		事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・2/17 誤飲の疑い(スーパーボール) 受診、検査の結果、異物なし。適切に対応。 ・3/1 手をつかんだ際に亜脱臼 受診・その場で治療完了。適切に対応。	事故なし・対応に不備なし 0点		適切な対応がなされた。また、市への報告も遅滞なく行われた。
	3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	40,858,271(収入)÷47,025,038(支出)≒86.9%	100%未満 3点	人件費が昨年度比で大幅に増加している。その年々の職員の配置により人件費が大きく影響している。

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映 10 期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	・6カ月ごとに保護者との個別面談、グループ懇談、及びアンケートや日常的な会話からも保護者の要望等を把握し、職員内で検討、共通理解し、必要な改善と保護者の理解・協力を図っている。	期待以上 8点	適正に実施されている。	8点
		②苦情対応	5 期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	・苦情なし。ただし、就学・就園に係わる市への要望書あり。	苦情なし・適正(普通) 4点	適正に実施されている。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15 提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	・療育プログラムの一部を変更し、療育の対象となった場合には、すぐに受け入れ、早期からの療育支援につながるよう図ってきた。 ・県障害幼児研究会を通して県委託の講演・研修会を企画し、県内だけでなく市内の保育園・幼稚園、学校関係者や保護者にもPRすることで、多くの参加者があり、子育て支援や障害に関する理解について、地域で交流を図ることができた。	期待以上 13点	待機することなく早期からの療育支援を図る方向ができた。 関係者の相互理解や共有を図ることができた。	13点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0 提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0 指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等はなし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下				合計81点 協定書通り事業が不足なく、内容も目標通りに忠実に行われ、施設管理等も適正に実施されている。 良好